

○事業所名	放課後等デイサービス 児童デイすぎと ちいさな木		
○保護者評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	雨天以外は毎日公園に出かけているので、なかなか友達と外で遊ぶ経験を持つことが難しい子どもにとって(保護者の方が毎日公園に連れて行くのが難しい生活にあって)心身の開放と友達を遊ぶ経験を毎日することで子ども同士の関わりやルールを学ぶことが出来る。雨の日は巧技台などもあるので、サーキット運動や集団遊びが出来、巨大ロールマットがある。	時々「ちいさな木」と「いちばん星」と同じ公園で合同で遊び、多年齢の子どもと触れ合い遊ぶことで、相手の強弱を理解し、優しさが生まれるようにしたり、大きくなったら次のステップのデイに移行する意識や憧れが持てるようにしている。また身体が不器用であったり、ボディイメージの弱いお子さんでも遊具で遊ぶことになり身体の使い方を学べるようにしている。最近ではジャングルジムのある公園を見つけ、ジャングルジムでの鬼ごっこで身体のいろいろな機能を使うことが出来ている。また雨の日でもサーキット遊びをして身体を動かしたり、昔の伝承遊びで楽しんでいる。さらに連携している幼稚園よりロールマットを寄贈していただき、子どもたちがそれが大好きで毎日遊んでにぎわっている。	土手に遊びに行き、滑り落ちる楽しさと土手の登り降りの運動が出来ると土手滑りを取り入れていきたい。また連携幼稚園に行き、生活の中での身体を作りについて参考になるものを取り込んでいきたい。毎日の生活での体幹強化を検討し、2月に連携幼稚園で使用されている椅子を購入した。
2	生活力をのためおやつ時間を使いそれぞれの児童にお手伝いの役割を与え、役割意識と自己肯定感・自己有能感を育てている。	司会やあいさつ、テーブル拭き、お茶入れ、配膳、雑巾がけ(身体作りも含む)などのお手伝いを毎日児童に担当してもらうことで、子どもが自分の役割として頑張り、また褒められることで自己肯定感や自己有能感が持てるようにしている。ご家庭でもお手伝いをしてもらえるようになったとの声が聞かれるようになった。	ささいなことでも子どもにとって役割を持つことは存在意義を感じることが出来る大切な療育と考えているので、今後も役割を増やしていきたいと考えている。
3	身体作りだけではなく学校の学習のサポートや個別課題を行ったり描画や工作など余暇につながる取り組みもしている。	支援級の児童には宿題のサポートをし、サポートの中で気づいた学習の弱点な部分については理解出来るように支援したり、特別支援学校の児童についても必要な児童には字や数の学習も行っている。またご家庭用に教材も作成して渡している。また描画や工作など余暇につながる取り組みや個別教材も豊富にあるので、子供に選択してもらい、自分で過ごし方を選択してもらっている。	引き続き宿題のサポートと児童の特性に合わせたワークを取り入れるなどして言葉の理解や表現の仕方をもう少し出来るようにしていきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お迎えしている学校数が多く、利用希望者が現在の学校以外の学校への送迎が出来ない。理解していただいた上で利用希望の場合は保護者の送迎をお願いしている。(帰りの自宅送迎は可能)	(経営的にも)車数が増やせないことと運転手数の不足。また放課後デイの定員が飽和状態である。	現状においては手立てがないので学校からデイの送迎を依頼して可能な限りは受け入れていく。もしくは利用希望の連絡が入った際に近隣の他事業所を紹介出来るように地域の資源を把握しておく。
2	多機能施設であるため児童発達支援と放課後等デイサービスを合わせた一日の利用定員数となっているので、児童発達支援の児童が卒園し放課後デイに移行を希望されても放課後デイの児童の方が在籍期間が長い為、年々移行可能人数が限られ少なくなっている。	地域全体として他事業所の放課後等デイサービスが圧倒的に不足している。相談支援専門員に他事業所紹介を依頼してもなかなか難しい状況となっている。	将来的に児童発達支援事業所を独立させ、児童発達支援の定員と放課後等デイサービスの定員の数を今より確保するかまたは放課後等デイサービスの事業所増設。
3	放課後等デイサービスでの利用希望者の受け入れが出来ていない。	放課後等デイサービスの10名定員がほぼ満員の中、放課後等デイサービスの需要が多い中受け入れがなかなか出来ていない。	法人として令和8年度4月より10名定員を15名定員としていくことにした。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 児童デイすぎと ちいさな木

公表日 2026 年 3 月 30 日

利用児

童数

11

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3		4		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2				
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

事業所名	放課後等デイサービス 児童デイすぎと ちいさな木				公表日	2026年3月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1		プログラムによってはもう少し広い方がいいと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		シフトによっては少ないと感じるときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	転倒しても危険がないようにすぐ対処している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7	2		真冬は床がとても冷たく感じる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2		宿題や個別課題を取り組む際に、別室がなく、パーテーション等で対応するのが難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	土手に遊びに行き、滑り落ちる楽しさと土手の登り降りの運動が出来る土手滑りを取り入れていきたい。また連携幼稚園に行き、生活	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		前日の振り返りなどを当日の朝、ミーティング等で話し合いをしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	法人として令和8年度4月より10人定員を15名定員としていくことにした。	放課後等デイサービスの10名定員がほぼ満員の中、放課後等デイサービスの需要が多い中受け入れがなかなか出来ていない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		

児 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	その時の子どもの気持ちに寄り添いながら支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	業務始めと終わりに、職員同士で情報や支援方法を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	行事に参加いただいている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当する利用者がいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			該当する利用者がいない		